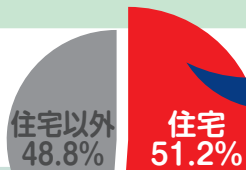


あなたが火災予防の**主役**

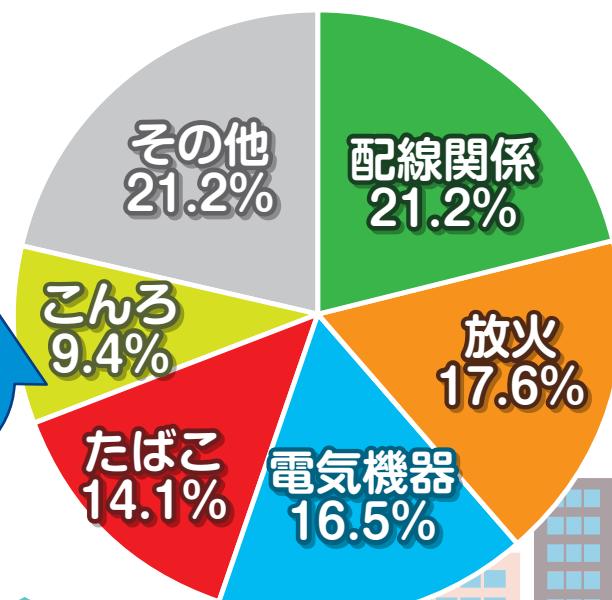
～出火とその対策～

千葉市で発生する火災の約半数が建物火災です。そのうち約5割が住宅からの火災となっています。ちょっとした注意で火災を防ぐことができます。

ご家庭で火災予防について話し合ってみましょう！



建物火災

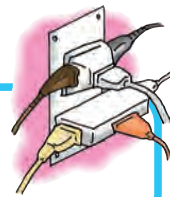


住宅火災の出火原因割合（令和7年概数値・千葉市）

1 位

配線火災対策

- たこ足配線をしない。
- 電気コードの上に物を置かない。
- 電気コードを束ねたまま使用しない。
- こまめに清掃、点検をおこなう。



2 位

放火対策

- ごみは指定された日時・場所に出す。
- 物置、車庫には「カギ」をかける。
- 家の周りに燃えやすい物を置かず、常に整理整頓をする。



3 位

電気機器火災対策

- 高温環境での保管・放置はしない。
- 使わない機器の電源は抜いておく。
- リチウムイオン電池を使用する際はなるべく純正品を使用する。



4 位

たばこ火災対策

- 寝たばこはしない。
- 灰皿の周りに燃えやすい物を置かない。
- 灰皿に水を入れておく。

5 位

こんろ火災対策

- 調理中はその場を離れない。
- こんろや換気扇はこまめに掃除する。
- 安全装置付のこんろを使用する。

⚠ 住宅火災注意点

身の周りを確認し、
防災対策を実施しましょう。

ストーブの取扱に注意！

- 燃えやすい物を近づけない。
- ストーブの上で、洗濯物を干さない。
- 火の点いたまま給油しない。



リチウムイオン電池は 正しく使いましょう！

- ストーブの近くや直射日光が当たる場所等に放置しない。
- 強い衝撃を与えない。
- 指定された充電器以外は使用しない。
- 膨張、異臭、発熱等の異常があれば使用をやめる。
- 廃棄する場合は適切に処分しましょう。



住宅用火災警報器を取り付ける！

- 寝室、階段、台所に適切な機種を設置する。
- 住宅用火災警報器は、10年を目安に交換をおすすめします。
- 住宅用火災警報器は古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあります。定期的に作動確認し、警報音を聞いてみましょう。



※ボタンを押して
確認をして
ください



※ひもを引いて
確認をして
ください

寝たばこはしない！
また、吸いがらの始末を
しっかり行う！



防災処理をした 製品を使う！

- 寝具、カーテン、じゅうたん等は、防災製品等を使用する。



調理中はその場を離れない！

- 離れるときは、火を消してから！
- こんろを使用しないときは元栓を閉める。



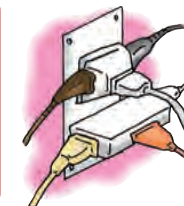
放火を防止する！

- 家の周りに燃えやすい物を置かない。
- 夜は街灯をつける。



コンセントなどの取扱に注意！

- たこ足配線をしない。
- 使用後はコンセントを抜いておく。
- 湿気やホコリが溜まると出火することがあるので注意。



神棚や仏壇等の安全対策！

- ローソクを点けたまま離れない。
- 線香立て等の下には、燃えにくい素材のものを！



感震ブレーカーを設置しましょう！

- 地震を感知して自動的に電源を切る感震ブレーカーを設置する場合には、避難上重要な照明器具（足元灯や懐中電灯）などを用意しておきましょう。

